



Gift from the season



ジュンベリーが刻む時間

我が家を建てる時、庭のシンボルツリーにジュンベリーの木を選んだのは私だった。

「だって、実も食べられるからお得じゃない」と笑って見せたが、本当はその名前が気に入ったからだった。

ジュンベリーの名は、6月に実が熟すので付けられた名前らしい。私たちが結婚したのも6月。そう、この木は、私たちの記念樹でもある。肥料をやり、枝の剪定もしながらこまめに手入れをしているし、何かにつけてこの木を眺めるのが習慣になっている。

4月、暖かい日が2、3日続いたら、ツボミがあつという間に膨らんで花が咲く。その可憐な姿はまるで桜の花のよ

うに白く、ちょうど時期も重なるように美しく咲く。

6月に入ると、直径1.5センチほどの実がたくさん付き、赤い実がやがて黒くなったら収穫。ブルーベリーとは違うその清楚な味は、一度食べたら忘れられない。

そして秋が来ると、近所の人が足を止めるほどに鮮やかな紅葉を見せてくれるのもうれしい。

名前は忘れたけど、誰かの名言に、「一本の自分の木を見つけなさい。その木を眺めていれば一生幸福でいられるだろう」という言葉があったと思う。このジュンベリーの木は、私たちの大切な記念樹としてこれからも我が家の庭でたくさんの出来事を見守ってくれることだろう。

